

## 【神奈川県茅ヶ崎市】令和4年度 重層的支援体制整備事業

### 1、自治体概要

人口：243,670人（令和4年4月1日現在）

世帯数：104,898世帯

面積：35.76平方キロメートル

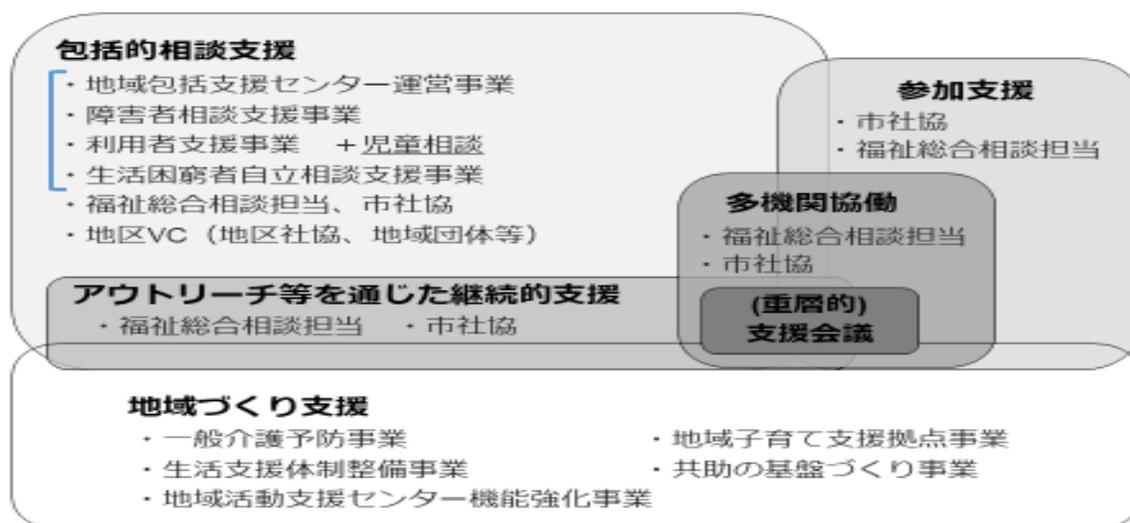
高齢化率：26.61%

### 2、背景

本市では平成22年度以降、市内の地域包括支援センターに併設する形で年齢・分野を問わない地域の身近な相談窓口として福祉相談室を設置運営してきました。また地区のボランティアセンターを中心に市社会福祉協議会、福祉相談室の3者が地域の様々な福祉課題を受け止める場として、地域住民と専門職が地域課題を共に考え協力し解決を目指してきました。今後のさらなる少子高齢化や近隣関係の希薄化等の社会情勢の変化により「制度のはざま」「複合課題」等の困難事例の増加が見込まれ、包括的支援体制の一層の強化が必要になるため、既存の取り組みをベースとして重層的支援体制整備事業を実施することとしました。

### 3、主な取り組み事項

#### 茅ヶ崎市の事業の体制図



令和4年4月より福祉相談室を廃止し、総合相談と生活困窮者自立支援の機能を持つ「福祉総合相談担当」を庁内に新設しました。さらに地域包括支援センターに福祉相談室の機能を一部統合し、相談機能を強化しました。

## ■相談支援

包括的相談支援事業では、既存の高齢・障がい・子ども・生活困窮の各分野において実施されている相談支援を一体的に実施し、相談者の属性、世代、相談内容等に関わらず、地域住民からの相談を幅広く受け止め、本人に寄り添い、抱える課題の解きほぐしや整理を行います。

福祉総合相談担当では、各機関が受け止めた相談のうち、制度のはざまにある世帯や複合課題を抱えた世帯を中心に多機関協働事業により個別支援を実施していきます。また、ひきこもり等の支援が届きにくい、つながりにくい世帯については、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を実施し、本人や家族につながることを目指し長期的な継続支援を実施します。

既存の個別支援ネットワークでは対応が難しい複雑化・複合化した課題を抱え、さまざまな課題の解きほぐしが求められる事例等について、重層的支援会議を開催し、各関係機関の役割分担、支援の方向性の整理、事例全体の調整機能を担います。

## ■参加支援事業

本人の社会参加を目的として、地域の社会資源などを活用して社会とのつながりづくりに向けた支援を行います。本人のニーズや課題などを丁寧に把握し、地域の社会資源との間をコーディネートし、本人の支援メニューのマッチングを行います。

## ■地域づくり事業

地区のボランティアセンター、市社会福祉協議会、福祉総合相談担当、民生委員、自治会等の地区の関係者が地域の様々な福祉課題を受け止める場として、地区ごとに毎月定例会を実施します。地域住民と専門職が地域課題を共に考え協力し解決を目指していきます。また高齢・障がい・子ども・生活困窮の各分野において実施されている既存の地域づくりに関する事業の取り組みを活かし、地域における資源の開発やネットワークの構築等により地域における多様な取り組みのコーディネート等を行います。

#### 4、取り組み事例

■地域住民も参加する重層的支援会議を実施。地域住民と専門職で課題の共有や役割分担を行い、支援体制を構築しています。また、相談者からフィードバックをもらい、振り返りも実施しています。



**ボラダス。**  
(ボランティアに一步踏みだす)



YouTube JP



Instagram



■地域づくり支援として、地域のボランティア活動等を応援する YouTube と Instagram を開設。13地区ごとのボランティア活動や担い手の確保、交流の場や居場所などの情報を発信し、情報を可視化しています。

地区ごとの活動を映像で共有することで、他地区への刺激や資源開発等を促しています。

